

< アンケート記載自由欄に寄せられたご意見および委員会コメント >

アンケート回答者より貴重なご意見を頂きました。誠にありがとうございました。
ここに、いくつかをご紹介しますので、発信者の皆様、ご了承ください。

☆ 杉野 35-49 歳 どちらかと言うと賛成；

燕舞会は私達の誇りであり、いつまでも在り続けて欲しい。活躍の場の為に少しでも支援をしたいと思っています。しかし、現在専業主婦であり子育て中ということもあり、決して余裕があるわけではありません。できる時に出来るだけ。すみませんが、一つの意見として聞いて頂けたら幸いです。

頑張れ！燕舞会！

⇒ ご意見ありがとうございます。この制度では、会費は任意の納入を基本としていますので、ご安心を。

今回、提案は一旦取り下げますので、「活動支援金」でのご協力を引き続き宜しくお願いします。

☆ 東工 50-64 歳 どちらかと言うと賛成；

インセンティブ付与は協力者を減らす可能性があるので大反対です。年代を問わず、広く薄く、現役世代を応援する会にしてください。会費も低額に抑えて、長続きするようなサポートシステムをご検討ください。メールマガジン上で構わないので、使われ方のフィードバックは必要です。

⇒ 会費の使途の明確化については、素案をお示しした時にも数名の会員さんよりご指摘を受けました。今回、提案は取り下げとしましたが、会の財政状況をオープンにして、会員の皆さんの財政面についての理解を深めたいと思います。

☆ 東工 50-64 歳 賛成；

現役の活動を安定的に支えられるよう、工夫していただけますよう、よろしくお願い致します。

⇒ 会則に会員間の親睦を図る事に加えて、現役の支援に係わる活動を加えました。今回、提案は取り下げとしましたので、現役支援については会員有志によるものが中心となりますので、今後ともよろしくお願い致します。

☆ 東工 35-49 歳 反対；

私が現役の頃は夏全遠征、フォーメーションドレスなど全て自費で賄ってきたと記憶しておりますが、当時から燕舞会からの支援はあったのでしょうか？
自分が現役の頃に支援してもらっているのであれば恩返しすべきだと思います。

⇒ 過去、「部旗の新調」「ゼッケン、腕章の新調」を実施、また数年前より「夏全遠征支援」を、また、現役からの要請に基づき過去に、「FMドレスの支援金」を実施しましたが、いずれも会員有志による寄付金募集の形で行っています。

前の方へのコメントにも記載しましたが、2年前に会則に会員間の親睦を図る事に加えて、現役の支援に係わる活動を加えました。今回、会費納入制度が導入されれば、現役支援への金銭的裏付けが出来るのですが、取り下げとしましたので、現役支援については会員有志によるものが中心となります

☆ 杉野 50-64 歳 どちらかと言うと賛成；

無理のない範囲で、学生の方の紹介とか OB,OG の方の紹介とか、楽しく見れたらいいと思います。いつも学生の方の動画は楽しく見させてもらっています。

⇒ 燕舞会 HP あるいはメルマガへの現役からの積極的な情報発信が、OB/OG と現役との繋がり強化となりますので、今後すすめて行きます。

☆ 東工 35 歳未満 どちらかと言うと賛成；

会費を有意義に使っていただけることを望みます。

⇒ アンケート実施依頼文書の中に制度導入した場合の想定支出内訳があります。おおざっぱに言って、年間約 33 万円を ①会の運営経費；8 万円（従来の支援金募集目標）② 会員弔事/他大学交際費等臨時経費；5 万円 ③ 会員活動助成基金および会費納入者インセンティブ経費；9 万円 ④ 懇親会現役補助；5 万円 ⑤ 現役支援および FM ドレス補助積立金 6 万円 として割り当てています。比率としては、①～③で 22 万円；67% ④～⑤の現役支援関連で 11 万円；33%となります。

☆ 東工 65 歳以上 反対；

現役支援は任意であるべき。それより会員相互の理解が得られる親睦を図るべきである。

⇒ 前の方のコメントにも記載しましたが、納入会費に対する純粋な現役支援の割合は、⑤で 20%弱となります。今回、制度導入を取り下げとしましたので、③の会費納入者インセンティブ経費は不要、④は如何に懇親会規模を拡大するかに注力、⑤は任意支援、その他の活動は活動支援金の充実でまかなっていきますので、あらためてのご協力をお願いします。

☆ 杉野 50-64 歳 賛成；

今年はコロナ禍で活動も制約がありますが、懇親会にかかわらず、現役とのふれあいの機会が有れば良いですね。

⇒ 何らかの形で、現役に燕舞会活動の一端にふれてもらい理解を深めてもらう事も重要ですね。

☆ 杉野 50-64 歳 反対；

燕舞会は オール東工大OB OG（加える新OB OG）の親睦交流の会 と理解して居ました。この度の 年会費制にする第一の目的は 現役支援の為の費用確保との感じがして受け容れ難い事です。 燕舞会の会場で支援金を募ったりする方法や会費の残金を現役支援に使うのは良いでしょう けれども、現役と燕舞会の間に ` 何の為のお金か ` の認識（契約）無く ` 余ったから ` 他大学でも成されているから ` =なんとなく と言う具合はいけません。

⇒ 「年会費制にする第一の目的は 現役支援の為の費用確保との感じがして・・・」との感じを抱かせた事は反省しますね。他の会員さんへのコメントにも記載しましたが、近年、会の活動の幅が広がった事、懇親会にご出席のごく一部の方に活動支援金をお願いしている実態（懇親会経費の残額は近年ほとんどありません）から、広く・薄く を念頭にこの提案をさせて頂き、その際に現役支援に対する金銭的裏付けを持たせたと言うのが実態である事を是非ご理解ください。

☆ 東工 50-64 歳 賛成；

会計問題を早く整理して本分に集中できるようにしてください。

⇒ 今回、提案を取り下げましたので、「コロナ禍」の状況ではありますが、今後、総会・懇親会の活性化に向けて活動していきます。

☆ 白百合 35 歳未満 どちらとも言えない；

卒部後あまり現役世代に関わっていないので…「関わる関わらない」を含め各個人の判断に任せてはだめなのでしょうか。

⇒ 今回、提案は取り下げましたが、会費納入は強制ではなく、あくまで任意による個人のご判断に、任せる形を取っています。

☆ 東工 35-49 歳 賛成；

個人的には会費は寄付のつもりで支払う認識です。払う人と払わない人を差別化するようなことは希望しません。出身大学や性別で差をつけるのもどうかと思います。

⇒ 今回、他の回答者からも、任意納入とはいえインセンティブによる差別化、出身大学や性別による「時代錯誤」の差別化とのご指摘がありました。アンケート作りの未熟さ、とご容赦ください。

☆ 杉野 50-64 歳 賛成；

今後の燕舞会存続発展を考えると会費納入は避けては通れないものと思います。会費納入となると、今のような年1回の会だけでなく数年に1度で良いので皆が集えるような催し等工夫が必要ではと思いますが会費の集まり具合にもよりますね。
⇒ 「総会・懇親会の活性化」が喫緊の課題と認識しています。今回、提案を取り下げましたが、今後はこの課題について邁進していきます。

☆ 東工 50-64歳 賛成；

会費については、支払いを任意とすることで、男女間の金額差を作らなくても対応可能だと思います。(会費を払わない年があっても良いので。)

また、現役の学生にとって、もちろんお金の援助はとても役に立つと思いますが、それ以外にもOB/OGが現役の学生の役に立つことは無いでしょうか？(例：幹部経験の伝授？就職相談？) もしあれば、OB/OG会と現役学生との交流も一層密接になり、OB/OG懇親会などへの参加者も増えて行くと思います。やはり、お金だけの繋がりでは、ちょっと寂しい気持ちがあります。

⇒ ご指摘ありがとうございます。現役と燕舞会の繋がりを、今後多面的に検討していきます。

☆ 杉野 65歳以上 賛成；

燕舞会の運営に携わる皆様に先ずは お礼を申し上げます。私はこれまで納入方法に迷いがあり 支援をしておりませんでした。しかし、一人一人の大切な青春の1ページを燕舞会を通して長きにわたり繋いでいって下さっていることに大変感謝をしております。

会費制になる事により 会の維持管理がより良くなる事を祈っております。

⇒ ご意見ありがとうございました。今回は提案を取り下げましたが、今後「活動支援金」の充実にフォーカスした財政基盤の強化に努めたいと思います。

☆ 東工 65歳 賛成；

アンケート自体に関して：Q2の選択枝に「65歳未満」までしかないので、これを選択したが、実際には69歳である。アンケートとして不備と思うし、65歳以上の会員に対し礼を欠くと感じる人もいるように思う。また、Q7にインセンティブ付与についての設問があるが、もう少し解説がないと理解が難しいように思う。

⇒ アンケート送信に際しての確認不足、お詫び申し上げます。また、会費納入者へのインセンティブ付与については、同様に「説明不足」との意見がございました。併せてお詫び申し上げます。

本提案の取り下げにより、今後「活動支援金」の充実にフォーカスした財政基盤の強化に努めたいと思いますので、従前と代わらぬご支援をお願い申し上げます。

☆ 東工 50-64 歳 反対；

会費の検討お疲れ様です。本会の活性化の指標は、会員同士の多様なコミュニケーションだと思っています。その意味で、本アンケートは一定の活性化を生んでいると思っています。

今は、ほぼ無料でコミュニケーションが取れる時代ですので、個々の費用についても都度、具体的にコミュニケーションを取る（例えば燕舞会内クラウドファンディングのような）ことで解決し、

同時に本会の活性化を狙うということは検討できないでしょうか。

（最低限の費用として活動支援金は残しておいてもいいと思っています。）

個人的には、一律の会費と一律のインセンティブで満足が得られるか疑問ですし、満足できない会員が多い場合、そのことで代表委員に重圧がかかることも危惧しています。

⇒ 貴重なご意見ありがとうございました。今後は「活動支援金」の充実にフォーカスした財政基盤の強化に努めると共に、会員相互の親睦の活性化/金銭面に拘らない現役と燕舞会の繋がりの強化に努めたいと思います。

☆ 東工 65 歳以上 賛成；

コロナ禍の今、財源の安定確保は急務だと思いますので、その原資としては不安定な寄付やパーティ余剰金ではなく、会費の徴収が望ましいと思います。但し本会のカルチャーとしてボランタリーな部分は残して行きたい、「安い会費で広く浅く、払わない人も会員」というポリシーで良いのではと思います。

一方燕舞会や現役部員から会員へのフィードバックは圧倒的に足りていません。（いまだに試合結果は学連のサイトを見ないとわからない）メルマガや紙媒体による発信も毎回スタートしても長続きしないか、不安定です。この点も会員の信頼感を損ねてきた部分だと思います。とは言え、「この点がしっかりしている大学や OB 会（あまり言いたくはないが六大学とか）」は存在するのですから、学べるものは謙虚に学んでも良いのではと思います。

⇒ ご指摘ありがとうございます。今回は残念ながら本提案は「取り下げ」の判断をいたしました。今後、燕舞会会員への現役からの積極的な情報発信、また、必ずしも金銭的援助に拘らないその逆の繋がり、にも代表委員会として意を注いでいきたい、と考えています。

